



# 一度は体験したい、地元民が愛する祭り 夏は海だけじゃない！ 藤沢の祭りがアツイ！！



歴史ある藤沢には、昔から受け継がれるお祭りが数多く残されている。それとともに、藤沢ならではの新しいイベントも10年、15年と続いている。地元の人に愛される伝統文化やユニークなお祭りをご紹介します。



キュン!  
12

## ぼたもちめがけ真夜中の争奪戦 龍口寺 龍口法難会

毎年9月11日～13日に開催。日蓮聖人が、龍ノ口に連行される途中、「棧敷の尼」が鍋ぶたにのせたぼたもちを差し出したという故事に因んだもので、お供えした手作りの黒胡麻ぼたもちが参詣者にふるまわれる。このぼたもちを食べると様々な災難を逃れることができるそう。ぼたもちが高所から撒かれると、激しい争奪戦が起こる。ぼたもち撒きは9月12日18時と13日午前零時の、法要の後に行われる。



キュン!  
10

## サーファーと神輿と一緒に海上に 江の島天王祭 神輿海上渡御



江の島の八坂神社と対岸にある小動神社のお祭り。毎年7月中旬に行われる。八坂神社を出発した神輿がふんどしと白足袋姿の男たちにかつがれ海に入る。その昔、大津波で流されてしまった小動神社の御神像を江の島の漁師が拾い、八坂神社に祀ったことがこの祭りのいわれだとか。サーファーと神輿と一緒に見られるのも藤沢ならではの風景だ。



キュン!  
13

## 藤沢は盆踊りゆかりの地？踊りづくしの3日間 遊行の盆



2015年に10周年を迎えた大盆踊りで、7月下旬の金～日曜日に開催。藤沢に踊り念仏で知られる時宗の総本山・遊行寺があることから、地域活性化イベントとして始まった。このお祭りオリジナルの盆踊りのひとつ、「遊行ばやし」コンテストは、期間中で最も盛り上がる。また、日本三大盆踊り(西馬音内盆踊り、阿波踊り、郡上おどり)に加えて、全国の著名な盆踊り(2015年は風の盆で有名な越中おわら)などが見られるのも特色だ。3日間で5～6万人の人数がある。



キュン!  
14

## 8メートルの巨大山車9基が境内に集結 皇大神宮人形山車

人形山車は、8月17日に行われる例祭で披露。9つの氏子町内がそれぞれに保存する人形山車が、境内に集う姿は圧巻だ。人形山車の高さは最高で8メートル20センチ。人形は、那須与一、源頼朝、浦島太郎など、歴史や民話の人物で、町内の理想像を表していると言われている。藤沢市指定重要有形民俗文化財。



キュン!  
15

## 神職が舞う格調高い神楽 藤沢の湯立神楽

大釜に沸かした湯をかき混ぜ、湯気のたち方で吉凶を占う。神楽は12座すべて舞われ、湯しぶぎにあたる無病息災になると言われている。藤沢では2社に伝承。皇大神宮の神楽は「湯華神楽」と呼ばれ、8月17日の例祭で執り行われる。白旗神社では10月28日に行われる。藤沢市指定重要無形民俗文化財。



キュン!  
16

## 乗っている人も目が回る!? 片瀬諏訪神社ぶん回し

8月23日～27日に行われる例大祭の最終日18時から見られる。5つの町の山車が龍口寺前から諏訪神社下社までを練り歩く途中で突然止まり、ぐるぐると回転。お囃子の人を乗せたまま、かなりのスピードで山車が回る。暮れゆく空に山車の提灯の明かりがよく映える。



キュン!  
11

## 通りに出現する巨大水槽 世界一大きい金魚すくいゲーム



藤沢駅北口にある商店街、藤沢銀座土曜会が8月上旬の日曜日に行うイベント。銀座通りに沿って特別に造られた細長い水槽に3万匹の金魚や5,000匹のメダカが放され、大勢で金魚すくいを楽しむことができる。1999年に50.4メートルから始まった特設水槽は、2002年には100.8メートルまで長さを延ばし、2003年7月にギネス世界記録に認定された。毎年約3万5,000人もの人々が涼と金魚すくいを楽しんでいる。

